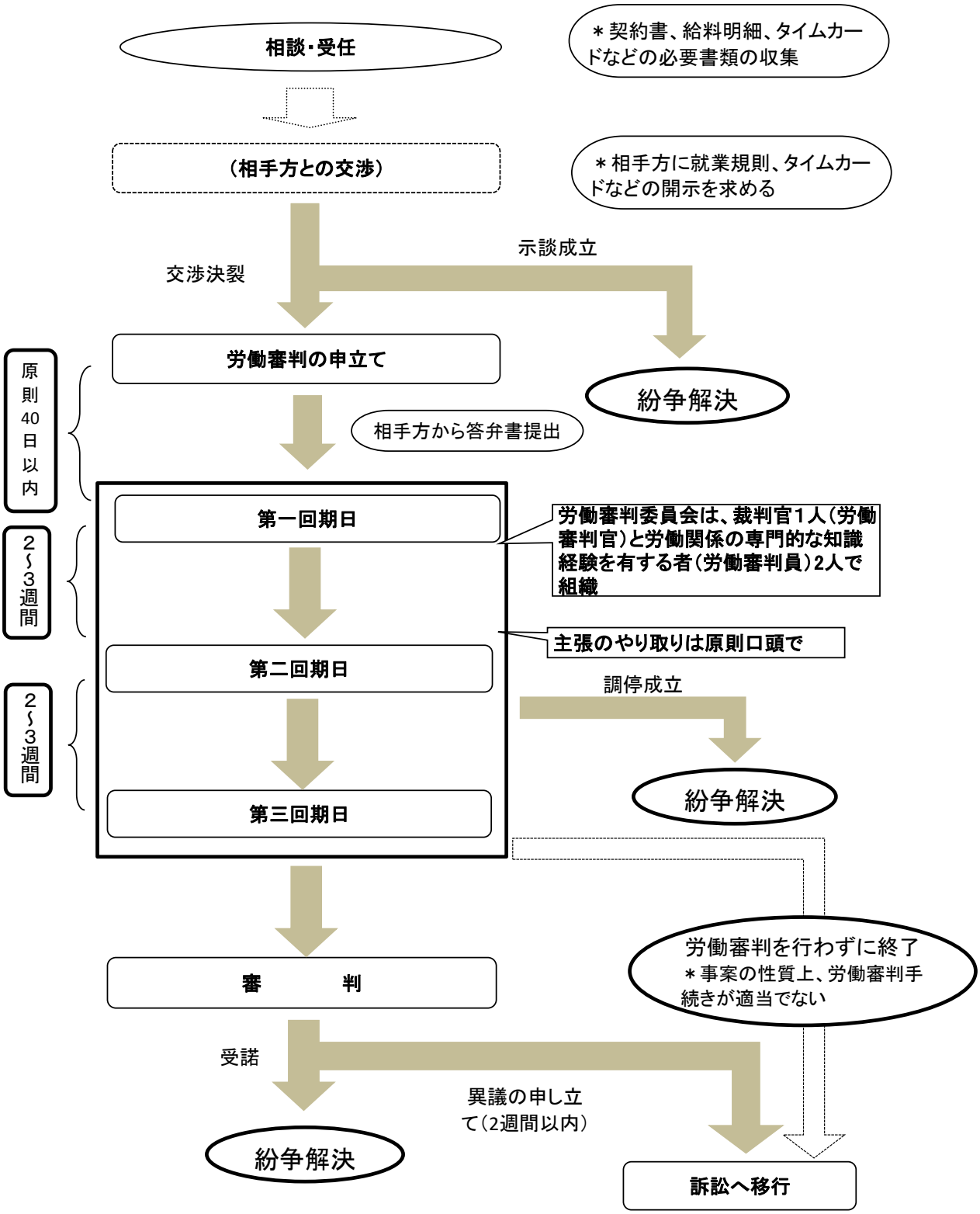
労働審判の流れ


相談・受任
＊契約書、給料明細、タイムカードなどの必要書類の収集
（相手方との交渉）
＊相手方に就業規則、タイムカードなどの開示を求める
交渉決裂
示談成立
労働審判の申立て
紛争解決
相手方から答弁書提出
原則40日以内
第一回期日
2～3週間
労働審判委員会は、裁判官1人（労働審判官）と労働関係の専門的な知識経験を有する者（労働審判員）2人で組織
主張のやり取りは原則口頭で
第二回期日
調停成立
2～3週間
紛争解決
第三回期日
労働審判を行わずに終了
＊事案の性質上、労働審判手続きが適当でない
審　　判
受諾
異議の申し立て（2週間以内）
紛争解決
訴訟へ移行